

◆発行 公益社団法人東京都助産師会

〒112-0013東京都文京区音羽1-19-18(財)東京都助産師会館2階

TEL:03-5981-3033 FAX:03-5981-3034

<URL><http://www.jmat.jp> <e-mail>info@jmat.jp

- トピックス <宗 祥子>・・・1P
- (公社)東京都助産師会 2022 年度第 1 回定時社員総会報告 <今村理恵子>・・・2-3P
- 『助産師がパーソナリティ！？助産師初のラジオ番組「アインカタチ .chu」でセクシャリティを語る！』<清水幹子>・・・4-5P
- 東京レインボープライド 2022 に参加して<金城順子>・・・6P
- 賛助個人会員向け講座『子育ての輪』活動紹介 <伊藤敦美>・・・7P
- インフォメーション・・・8P



会長就任にあたって

東京都助産師会会長 宗 祥子



皆様、今年度東京都助産師会総会において、会長職を賜りました宗 祥子です。

1998 年から現在に至るまで中野区において松が丘助産院を開業しております。

年々助産院の出産数が減少する中、次々と閉院する助産院が出ております。松が丘助産院も分娩数の減少は顕著であり、2009 年に年間 150 例ほどあった分娩数が 2021 年は 32 例まで落ち込み、開業以来最低数となりました。

そんな中、行政から委託を受けて産後ケア事業を担っていくことで助産院を存続させています。年間 200 名以上の産後のお母さんたちを受け入れています。不妊治療後の高齢出産、経膈分娩が進まず緊急帝王切開にて出産、入院中に母乳育児が軌道に乗らなかった等、体も心もダメージを受け産後入院に来て下さるお母さんたちにごそ、助産師の手厚いケアが必要であることを実感しています。

【行政との連携の必要性】

行政の委託を受けるようになった経緯は、平成 27 年度から国で産後ケア事業に予算が付き、いくつかの自治体で産後ケア事業を展開し始めたことによります。産後入院も自治体から 9 割程度の助成が出ることにより、産後のお母さんたちにとっては大変利用しやすいものになりました。

そんな中、東京都助産師会では毎年、東京都や各政党に対して母子保健にかかる様々な要望を提出してきました。片岡前会長を中心に、政策提言委員会が積極的に動き、東京都の各政党へ具体的な要望を提出し実現してきた成果が数多くあります。特に過去 3 年は、コロナ禍の中で妊産婦さんたちに大きな影響がありました。

○東京都助産師会でボランティア的に開始した無料電話相談に、都から予算が付き期間を延長

○コロナ陽性妊婦の健康観察を、都から委託を受け実施

初期の妊産婦さんは 1 か月以上医療機関に行けない方もおり、不安が募っています。そのような方々へ、感染対策を厳重に行い自宅訪問し、胎児の無事を確認する作業も行っています。現在も急激な感染の広がりを見せていて、この事業の重要性がさらに高まっています。

○妊産婦さんに対して、タクシー券にも使えるクーポン券の発行に予算を計上

コロナ禍で、妊婦健診へ行くことを躊躇している妊婦さんたちがいることを訴えた結果、予算がつきました。

○多胎児に対する家事育児支援の大幅な拡充

予算要望で多胎児の育児の大変さを訴えてきた結果、拡充することができました。

このように行政と連携をとることで、妊産婦さんの力になり地域助産師の活動の重要性が再認識されています。

【助産師同士のさらなる団結を】

しかし、東京都が予算を計上しても、産後ケア事業は自治体間の格差が非常に大きく、この点は引き続き訴え続けています。各地区分会ではそれぞれの自治体に産後ケア事業の改善や、その地域の実情に応じた要望を行っています。政策提言委員会の学習会を通して行政への効果的なアプローチを学び、実行に移し少しずつですが、私たちの主張が実現してきていると感じています。

更に今年に入ってから長年、訴え続けていた妊婦健康診査券の助産所での直接使用がいくつかの自治体で認められ始めています。

東京都は区市町村が 62 にも及ぶ大きな所帯ですが、助産師たちの団結と横のつながりを強化し、行政の仕事を協力して引き受けることが重要です。

私が代表を務めるあいだに、今以上に相互に協力し合える組織とし、東京の母子保健に貢献していきたいと考えています。

皆様のご協力をお願いする所存です。

公益社団法人東京都助産師会

2022 年度第 1 回定時社員総会報告

広報委員 今村 理恵子

2022 年 6 月 18 日（土）13 時から公益社団法人東京都助産師会 2022 年度第 1 回定時社員総会が開催されました。コロナ禍になり、3 回目の定時社員総会になります。会員数が 1000 人超の東京都助産師会の総会はネット開催は難しく、昨年からの感染症対策に配慮し対面で開催されています。コロナ禍のため式典はなく、片岡弥恵子会長（以下、会長）の挨拶「今年度の総会は、コロナ禍においてはまだ収束しておらず式典は行わずに進めさせていただきます。東京都の母子に多くの支援を届けることができたことは皆さまの力添えのおかげであります。感謝申し上げます。」を受け、定時社員総会が始まりました。

司会進行役の常務理事伊藤仁子氏より定款 18 条 2 項に基づき出席社員の中から、議長として橋本初江氏、副議長として今村理恵子氏、岩田敦子氏の推薦があり異議なく選出された。議長の橋本氏より 2022 年度定時社員総会の開会が宣言された。社員総数 1099 名、出席社員総数（委任状を含む）670 名で、本総会で提出する議案を審議するのに必要な定足数（定款 19 条 1 項：過半数）は満たしていることが報告された。監事の三島典子氏より本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査したところ、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことの監査結果の報告がされた。

報告事項1 2021 年度(令和3年度)事業報告の件 (定款43条2項)

会長より、2021 年度（令和 3 年度）事業について資料に基づいて報告された。当会インターネットウェブサイト会員ページで公開されており、焦点化して報告があった内容は以下のとおりである。（総会資料 2 ～ 10 頁参照）

1. 2021 年度（令和 3 年度）東京都助産師会定時社員総会の報告

2021 年度（令和 3 年度）定時社員総会は、2021 年 6 月 12 日（土）に公益財団法人東京都助産師会館講堂において開催され、会場からの質問もなく、審議された内容は全て承認された。

2. 理事会・運営会議・地区分会長会議の報告

第 1 回理事会ではマタニティフェスティバルの開催方

法、会員限定研修会、東京都医療功労者の表彰について検討した。第 2 回の理事会では、役員選任委員の選定、COVID-19 対応緊急助産師ミーティングについての報告がされた。第 3 回理事会では助産師による自宅療養中のコロナ陽性妊婦の健康観察事業についての検討がされ、東京都委託事業として行った。第 4 回理事会では妊産婦向け訪問電話相談事業実施について検討し、こちらも東京都委託事業として実施した。また 2022 年度財務理事への役員報酬について検討、報酬を支払うこととした。第 5、6 回理事会では運営会議の結果をもとに、次年度事業についての検討、予算案などについて審議した。理事会は 7 回開催され、本総会のための開催方法、議案などを審議した。地区分会長会議は 5 回実施し、理事会報告、地区分会の活動報告などが行われた。

3. 専門部会、委員会の報告

資料に基づき、片岡会長より順次報告された。助産所部会は安全対策委員会で取り上げられたテーマについて、安全管理評価、新規の助産所の開設について部会や委員会主催の研修を年間計画に沿って実施したことの説明がされた。施設勤務部会は会員のスキルアップのための講習会を開催した。保健指導部会では委託講習会の企画について、保健指導部会の活動と委員会メンバーについて検討した。

委員会報告では、総務総括は表彰者の選定。広報委員会ではサンバ通信年 3 回、毎月のメルマガを発行。インスタグラム等 SNS などの情報発信。賛助会員の増加に向け会員向けの講座を 10 回実施した。政策提言委員会では 2021 年度の様々な要望活動を実施。教育委員会では 2021 年度のプログラムを作成。いのちの教育委員会ではエドゥケーターの育成、活動を推進。助産業務安全対策委員会は助産所部会の異常報告、転院報告が新たなシステムになったため会員への周知の援助を行った。災害対策委員会では地区分会をふくめ災害対策の在り方について検討を行った。産後ケア特別委員会は助産師が産後ケアに関して評価を集積していくための評価表の作成を行い今後実施予定。

子育て女性健康支援センターの電話相談、いいお産の日のイベント、オンライン助産師相談、コロナ陽性妊産婦さんの寄り添い支援、コロナ陽性妊産婦の自宅療養中の健康観察、助産師訪問・電話相談、YouTube チャン

ネルの動画投稿、WAM（福祉事業機構）の事業支援の実施。

報告事項2 2022 年度事業計画及び収支予算報告の件

1. 2022 年度事業計画（総会資料 11 ～ 16 頁参照）

会長の片岡より 2022 年度の事業方針、事業計画について報告された。これを踏まえ、東京都に今年度の事業方針を提示し、公益社団法人として事業として挙げているものに基づいて、事業毎に計画を挙げている。詳細は資料で確認して頂きたい。

助産所部会では部会集会、研修会、安全管理研修会、安全管理評価、医療連携会議への参加。施設勤務部会では、新生児を中心した安全管理研修会、スキルアップのための研修会を実施予定。保健指導部会は交流会を兼ねた勉強会、活動調査、ヒヤリハット報告推進活動、COVID-19 の助産師対応マニュアルの更新を行う。

委員会は総務総括委員会では表彰の推進。広報委員会ではサンバ通信、メルマガ、SNS からの発信。賛助会員の増加に向けてのイベント実施。政策提言委員会では要望書の作成、各政党、東京都への要望。教育委員会では委託講習会、昨年度と回数を同様に実施。NCPR スキルアップを再開しすすめて行く予定。いのちの教育委員会では生・性を語るエドゥケーターの認定、実施状況の把握、通信の発行の継続、認定者の増員を図る。助産業務安全対策委員会は 2 ヶ月に 1 度開催。インシデントについて、報告等について日本助産師会と連携しながら進めていく。災害対策委員会は講習会に加えて安否確認訓練、安全対策の地区分会交流会を計画。産後ケア推進は助産師の行う産後ケア事業の質を社会に示していくために評価表の実施。その他、電話相談、東京都委託事業の実施、地区分会活動の推進、関係機関との連携、いいお産の日のイベントの実施。正会員、賛助会員増加に向けての活動。産前産後サポート事業の継続。マスクリメイクプロジェクトの継続なども行っていく。

2. 2022 年度収支予算について

財務理事の横川氏より資料に基づいて説明された。経常収益計 58,603,731 円、経常費用 57,964,733 円 正味財産増加 568,998 円と報告された。昨年と比較し、経常収益計、経常費用計ともほぼ同額になっている。令和 4 年度のコロナ陽性妊婦の健康相談、助産師相談事業が継続されるかが不確実だったため、予算には計上されていない。

決議事項

1. 第 1 号議案 2021 年度決算（計算書類）報告 承認の件（別紙 令和 3 年度 決算報告書案 参照）

財務理事の横川氏より資料に基づいて説明された。当期一般正味財産増減額が 257,262 円増となった。今年度マスクリメイクプロジェクト、ホームページの更新を行い解消予定。

2. 第 2 号議案 理事 13 名選任の件（総会資料 18 頁参照）

役員選任管理委員会委員長の井出陽子氏より、新理事 13 名が紹介された。総会出席者の権田氏より選任された方々に一言ずつでも紹介していただきたいとの意見があり、各候補が自己紹介と抱負を語った。13 名全員が賛成多数で原案どおり承認された。

3. 第 3 号議案 監事 2 名選任の件

役員選任管理委員会委員長の井出氏より、新監事が紹介された。候補者は自己紹介を行った。2 名とも賛成多数で原案どおり承認された。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨を告げ、閉会を宣言した。

退任された理事・監事

ありがとうございました
片岡弥恵子 板橋知子 北目利子 榎木めぐみ 名嘉真あけみ 平出美栄子 三島典子

新理事・監事

よろしくお祈りします
赤山美智代 伊藤仁子 荒慶子 宗祥子 大坪三保子 山本聡 戸塚麻美 大谷紗弥子 今村理恵子 新野由子 比嘉美貴 横川峰子 岩田敦子 清水幹子（写真下段右から）



『助産師がパーソナリティ！？』

助産師初のラジオ番組「アイノカタチ.chu」で セクシャリティを語る！』

清水 幹子



で、女性も若者も聞きやすい番組になるよう、また正しい知識や情報をお届けできるよう、毎週、工夫しています。

性についてフラットに語り、自分自身の疑問や悩みが安全な場で共有できると、性の捉え方はとたんに変わります。特に女性は、性を自分の人生を豊かにするものであると認識することで、性を前向きにとらえられ、楽しむことができるようになると思うのです。また、仮に望まない妊娠をすることがあったとしても、そして万が一、性被害にあったとしても、1人で抱え込まず、周りに助けを求めやすくなるのではないかと思います。そして、性についてのコミュニケーションが豊かになれば、セックスレスや性交痛などの様々な問題をパートナーと共に乗り越えることができると思うのです。「性は、タブーにしていたらもったいない！」もっともっと学んで、自分自身のため、パートナーとの良い関係のために、そして、楽しく充実した人生を送るうえで、「性」ってとても大切なことであると捉えられる社会になればいいなと思っています。なので、番組コンセプトは、「1人1人が性のタブーを壊し、誰もが性を人権として尊重される未来へ」として、聞いてくださる方の性の意識改革になればいいなと思っています。

なぜ、性を語るラジオ番組をするようになったのか？そのきっかけをお話します。私は、病院で助産師として働き、その後矢島助産院へ転職。それから性教育に携わるようになりまして。小学校や中学校・高校生・大学生の学生さんに関われるのは、授業の中の数時間で、それは人生の中で点でしかなく、もっともっと学生さんの悩みに寄り添いたい、本当に困った時に

力になりたいと考えるようになりまして。しかし、臨床で働く私には、肉体的にも時間的にも、そんな余裕もありません。矢島助産院チャン



2019年5月3日、忘れもしない、助産師である私がラジオパーソナリティとして、デビューした日。ドキドキで始まったラジオ番組も、あれから、3年間、毎週休まず、オンエアし、全170回を超える放送を重ねています。ということで、私は、助産師であり、ラジオパーソナリティであり、大学院博士後期課程の学生でもあり、当会では理事2期目をさせていただいております。

ラジオ番組のタイトルは、「アイノカタチ.chu」で、「アイノカタチ、ドッド、チュー」と読みます。セクシャリティや性をテーマとした番組です。ラジオフューズ(FM府中)にて、毎週金曜22:45~23:15に放送しています。

テーマである「性」には、様々な多角的・多面的な要素・カタチがあります。愛にも人それぞれのカタチがあるのではないかと思います。なので、番組タイトルを「アイノカタチ」として、「chu」は、ラジオ局のある府中の「ちゅう」とってつけました。性やセクシャリティ、そして、性の多様性・セックスレス・セクシャルプレジャー・性志向など、性に関する様々なトピックス、または社会課題や問題などについても、広く扱っています。

「性」と一言と言っても、日本では、タブー感を感じたり、または、日本古来のジェンダー観、女性はこうあるべき、男性はこうあるべきという考えに縛られていたりします。そんな性のイメージがあるためか、性の悩みや疑問を解決する場が、まだまだ少ないのが現状です。しかし、人生において、性は切っても切り離せないもの！！大切なこと・大切にしなければならぬものだと、私は考えています。そんな性について真正面から、しなやかに、軽やかに、楽しく、トークをし、聞いてくださる方々が、性の新しい扉を開けるような、そんな番組にしたいと思っています。助産師がパーソナリティするラジオ番組は、史上初！！助産師がナビゲートすること

ネルという職場の矢島助産院のラジオ番組をすでに運営していたので、その当時、ラジオ局に行ったら、「点での関わりでは変えられない、性について、ラジオですと発信し続けてみたい」そんな話を局長にしていました。そんな風に熱く語っていると、ラジオ局の方がスポンサーを探してきてくれて、金曜の夜に時間を設定していただきました。私とつながりのあるゲストの皆様のご協力もあり、番組のコンセプトや目指すものも、スポンサー・ラジオ局ともに受け入れていただき、番組がスタートする運びとなりました。関係者の皆さまには、本当に感謝しています。実はスポンサー契約が終了してしまい、現在募集中です。

今までの番組の内容・ゲストは、多岐にわたります。皆さんご存じのコンドームの達人・医師の岩室紳也先生はじめ、薬物依存治療の権威である医師の松本俊彦先生、性加害者臨床におられる精神保健福祉士・社会福祉士である齋藤章佳先生。そして、助産師の先輩方や仲間たちにも多数出演いただいています。性教育について、助産師田中佳子さん。調布LGBT&アライの会代表、助産師榎木めぐみさん。すべての妊娠の困りごとに寄り添う「妊娠SOS東京」助産師中島かおりさん。「こうのとりのゆりかご」いわゆる赤ちゃんポストの設置にご尽力した助産師でもある田尻由貴子さん。また、アクティビストや性に関連する活動をしている団体の方も多数ご出演いただきました。「#なんでもないの？」の福田和子さん。リベンジポルノやデジタル性暴力・AV強制出演の被害者を支援する「ばっばす」の後藤稚菜さんと岡恵さん。人工妊娠中絶の配偶者要件や中絶薬の認可のための活動をしている「RHRリテラシー研究所」梶谷風音さん。

性の悩みや困りごとに寄り添う団体の活動をラジオでお話しいただいたときは、現状の様々な問題や課題に、胸がつまるような思いがありました。例えば、妊娠SOS東京の中島かおりさんは、「妊娠に関する困りごとは、何でも相談に乗ります。相談者の方と一緒に考えます。答えを出すのは、女性。その答えに寄り添います。こちらで、決めたりは絶対しません。それは、後々の女性の力を奪うことになるから。」リプロダクティブヘルス & ライツがまだまだ浸透していない日本では、女性が自分の決断を守られて、生きていけるようになるために、助産師の姿勢が示すものの、深さに感動しました。

また、こうのとりのゆりかごの田尻由貴子

んからは、「赤ちゃんポストは、単なるシンボル。子どもを育てることに困難を抱えている人が1人でも相談できて、命が救われることが大切。」日本全国から相談が寄せられるそうです。田尻さんからは、子育て支援の真の受容の姿勢のようなものを感じ、感慨深く印象に残っています。

助産師は、妊娠中に健やかに過ごせることをお手伝いし、お産を手助けし、育児を支え、女性に寄り添っていく職業です。妊娠・出産は女性の性の一部ではありますが、そのほか生涯にわたり、いろいろな性の側面があるということも、ラジオを通して、私自身が痛感しています。助産師である皆様にも、楽しめるコンテンツを今後も考えてまいりたいと思います。東京都助産師会の皆様にも、ぜひ聞いていただき、助産師の仕事に、または人生に、何かお役に立てたらと思っています。

府中FM
ラジオフューズ

アイノカタチ.chu

「性」に関する正しい情報や知ってほしいトピックスを放送している。

助産師ミッキーが毎週「性」に関わる仕事や活動してる方々をゲストにお迎えし、思春期から大人まで楽しめて、「性」に関するタブーをぶち破り、新しい「性」の扉を開くトーク番組です。悩みやエピソードなどをシェアしてください。誰もが楽しめる・幸せな番組作りを目指しております。

Information

毎週金曜日

22:45-23:15
パーソナリティ
助産師ミッキー
様々なゲストをお
迎える
トーク番組

公式SNS
Twitter/FB/Instagram:
#助産師ミッキー

ゲスト

医師・助産師・
セラピスト・作
家・緊縛師・
NPO団体など

アイノカタチ.chu

リスンラジオ



スマートフォンやパソコンでも、Wifiがあれば、世界中どこでも聞ける！

ラジオフューズ 87.4 MHz

東京レインボープライド 2022に参加して

江戸川地区分会 金城 順子

「ハッピープラー」3年前の2019年代々木公園、パレードが始まるとみな口々に繰り返される言葉。なんて言ってるの？わからないままにひとまず真似して言う。

すると沿道の人たちも笑顔で「ハッピープラー」。手にしている団扇に「Happy Pride！」の文字を見つけようやく言っている言葉がわかる。

「パレードがあるから代々木公園に集合」と当時の江戸川地区分会長の板橋さんに誘われるままに出向いた会場。私の中では代々木公園でパレードと聞けば想像するのはメーデーのデモ行進。〇〇反対、〇〇を許さないぞーとシュプレヒコールを繰り返すあのイメージ。

なのに今回は違うぞ？みんなすこぶるご機嫌、楽しそう！沿道の人たちとハイタッチしたり、とにかく笑顔笑顔、レインボーフラッグを振りながら終わってみれば「あー楽しかった。また来年も来よう」という思い

を強くしました。元々理解力の弱い私がパレードの意味を知ったのはこの日の様子をニュースで見聞きした後です。セクシュアル・マイノリティの人々のプライド（誇り、矜持）を称するパレードを指し国際的に認知されているものと。あのほとばしるエネルギーに圧倒された感覚は強く残り、この日から私はLGBTQに関する記事を注視するようになりました。

を強くしました。

来年も参加する、と意気込んだパレードは2020年からは新型コロナウイルス感染予防のためにオンライン開催に変更を余儀なくされました。

しかし、今年4月24日（日）代々木公園を中心に渋谷の街が再び虹色に彩られました。

満を持して3年ぶりにリアル開催された東京レインボープライド2022です。



コロナ禍のため、一団体10名と限定されたパレードには、調布LGBT & アライの会代表の棚木さんをリーダーに十色のスクラブを身にまとった助産師が虹色マスク着用で行進しました。前日に濃厚接触者になったり、まさかのPCR結果待ちになったお二方が交代されるという思わぬ事態もコロナ禍ゆえのハプニングです。

そして、大勢の笑顔あふれる中、プライドセンター大阪の方や虹色ドクターズの皆さんと直接交流できたのもリアル開催ゆえの賜物です。

今回は感染防止策として黙々行進のため、残念ながら発声はできませんでした。

でも、沿道の人たちとは笑顔とエア－ハイタッチでつながりました。

私は、今年は真似っこの「ハッピープラー」ではなく、「まずは知ることから」「わからなければ学ぼう聞こう多種多様な人々と共に」「わたしはわたしらしく」の思いを胸に「Happy Pride！」と心の中で唱えました。

みなさんはどんな思いをこめて呼びかけますか？「Happy Pride！」

来年こそはマスクをはずして共に行進しましょう。何度でも「Happy Pride！」

賛助個人会員向け講座『子育ての輪』活動紹介

広報委員 伊藤敦美



「子育ての輪」の講座の様子

東京都助産師会は、一般の方を対象に賛助個人会員制度を設けています。

当会の活動にご賛同いただける個人の方を対象に賛助個人会員活動は、社会で性と生殖に関する健康と権利の尊重・普及活動を助産師とともに考え、協同することを目的としています。

会員特典は

- 1、東京都助産師会が開催する一般向け講習会に会員価格で参加出来ます
- 2、年3回、助産師会の会報が届きます
- 3、助産師と交流ができ、イベントの共同企画を行うことが出来ます

この活動は、広報委員会が運営しています。

一般向け講習会は、昨年コロナ禍で講座やクラスが中止になっている親子を元気づけよう！とオンラインを中心に開催し、たくさんの方が講座に参加されました。

好評を受け、今年も全10回の講座を企画しました。

- 6月 母乳育児のはなし（終了）
- 7月 両親学級 産後編（終了）
- 8月 赤ちゃんの排泄に寄り添うおむつなし育児
- 9月 赤ちゃんとお母さんのためのベビーマッサージ
- 10月 赤ちゃんごはん
- 11月 さんきゅうパパ 男性の育児休暇はこんなに素敵
- 12月 仕事復帰と授乳のこと
- 1月 子どもの体質に合わせた子育てのコツ
- 2月 妊娠中からのからだづくり
- 3月 会員と助産師交流会

この一般向け講習会は、妊娠中・産後の母親、その家族だけでなく、子育て支援者の方も参加出来ます。もちろん、会員の助産師も参加することが出来ます。会員以外の方も、講習会に参加することが出来ますが（単発参加2,000円/回）、会員の方が断然お得です！



〇6月開催『母乳育児のはなし』の様子

松が丘助産院の吉川助産師が、母乳育児に悩むお母さんたちに向けて対面とオンライン双方でお話しされました。

参加者の方々から

- ・一般のわたしでもとても分かりやすい内容だった
- ・母乳のメリットが知れた
- ・他の参加者の状況も知れて悩んでいるのは自分だけではないと思え安心できた

という感想をいただきました。

COVID-19の影響は、まだ落ち着きそうもありません。病院では、人との接触の機会をなるべく少なくする取り組みが続いています。助産師からじっくり話しを聞いたり、他のママとお喋りする機会は少ないとお聞きします。

助産師会員の皆さま、妊娠中や産後の方、子育て支援者の方々へ是非この賛助個人会員向け講座『子育ての輪』のご紹介をお願い致します。助産師会事務局にチラシの在庫もございます。ご購入の方は、助産師会事務局へご連絡をお願い致します。

また、賛助個人会員の申し込みは便利なクレジット決済も出来るようになっております。

お申込みはチラシのQRコードが専用URL (<https://tokyomidwivessupportes.peatix.com/>)

をご案内下さい。

今年度も、たくさんの方々とお繋がることを楽しみにしております。

賛助個人会員向け講座『子育ての輪』についてのお問い合わせは広報内担当（tokyo.mw.sanjo@gmail.com）まで

虹色マスクを着用し、パレードに参加

information

おめでとうございます

1. 表彰者 (表彰の正式名称、受賞者氏名 敬称略)

永年活動感謝状 若林節子(品川区)、鈴木幸子(東久留米清瀬西東京)、高橋淳子(板橋区)

公益社団法人 日本助産師会 会長表彰 4名

片岡弥恵子(中央区)、佐々木美幸(練馬区)、阪本幸絵(八王子市)、早瀬千文(品川区)

特別功労者表彰 廣瀬綾子(八王子市)、佐々木美よ江(練馬区)

2. 物故会員 (氏名、享年) なし

3. 会員数

R4.7.10 現在 1116名(会費未納者、今期退会者を含む)

4. 今後のセミナー・イベント予定

●東京都委託助産師教育指導講習会

今期は9月、10月、12月、2月に開催予定。

今回も開催講習会ごとに日時が異なります!

今回は昨年と違い対面講習もあります。(ハイブリットではありません。)

参加の際は確認の上お申し込みください。

また詳細についてはHPをご覧ください。

申込は東京都助産師会 Coubic<https://coubic.com/jmat> 内より受付。

5. 事務所の夏期休業について

8月11日(木・祝)から8月18日(木)まで事務は夏期休業させていただきます。メール・FAXは24時間受信可能ですが返信につきましては8月19日(金)以降順次ご連絡とさせていただきますのでご了承ください。

6. ◎年会費の自動引落手続きについて

年会費のお支払いは、指定口座からの自動引落による会費納入が、原則となっております。お手続きがまだの方は、東京都助産師会もしくは日本助産師会までお問い合わせください。口座引落依頼書をお渡しします。今からお手続きされますと令和4年度の会費より自動引落となります。

◎年会費のお支払いがまだの方は、下記にお振込み願います。

※正会員(一般) 25000円

(内訳:本部会費 15000円 東京都助産師会会費 10000円)

※正会員(特別) 13000円

(内訳:本部会費 5000円 東京都助産師会会費 10000円)

郵便口座

◎00170-7-484988

公益社団法人東京都助産師会

※他銀行からお振込みの場合

ゆうちょ銀行 〇一九(ぜろいちきゅう)店

当座0484988

銀行口座

◎三井住友銀行 大塚支店 普通 1986476

公益社団法人 東京都助産師会

◎三菱 UFJ 銀行 江戸川橋支店 普通 0031243

公益社団法人 東京都助産師会 代表理事 宗尚子

また、住所・職場、改姓等変更がございましたら、必ず日本助産師会の会員ページより会員情報変更フォームより手続きをお願いいたします。

編集後記

今回のサンバ通信でも、助産師会員の皆様が多面で活躍されている様子をお届けできたのではないかと思います。普段の助産業務に加え、信念をもって様々な活躍をされており、やはり助産師は、エネルギーにあふれていて、本当にすごい方々だと改めて感じました。編集に携わることで、元気をいただきました!

まだまだ暑い日が続くと思いますので、ご自愛ください。

(二村文子)

もし1人である時に陣痛が起こったら... もし深夜に陣痛が起きたら...

- 1 喉水に備え、缶菓(飲み物)に防災シートをご用意
- 2 陣痛時、専任スタッフが24時間365日対応。
- 3 出産予定の病院を事前に登録するので、運送料は不要
- 4 産道救命講習を受けたドライバーが対応し上がります
- 5 交通系ICカード (suica, PASMO) で決済可能

そんな心細いときのために
マタニティマイタクシー
にご登録ください。

マタニティマイタクシー お問い合わせはこちらへ **03-5520-5690** 無料会員登録はWEBで kmタクシーオフィシャルWEBサイト マタニティマイタクシー 取組

国際自動車株式会社

WEBメディア
楽しく学ぶ
妊娠・出産・育児を
専門家監修

まな  べび

MANA BABY

Produce by 中日アド企画